

平成 29 年度環境省事業計画(捕獲事業)

●エゾシカ個体数調整捕獲(達古武地区)

達古武地域では、平成 25 年度以降 3 カ年にわたり試験捕獲と個体数調整捕獲を実施してきた。しかしながら依然としてエゾシカが高密度で生息していると考えられ、個体数調整捕獲を継続して実施していく必要があると昨年度会議で指摘があったことから、今年度も囲いワナによる個体数調整捕獲を実施する。

➤大型囲いワナ

○自然再生事業苗畑周辺(H27、H28 と同位置)に設置

- ・ 12 月中旬から給餌を開始、1 月上旬から 3 月上旬までワナを 1 基設置して捕獲を実施する。

➤小型囲いワナ(体重計測式ワナを想定・1 基)

○自然再生事業地土場(H25・26 大型囲い設置地点)周辺に 1 基設置

- ・ 踏査して捕獲候補地を選定後、12 月中旬から給餌を開始し、1 月上旬から 3 月上旬までワナを 1 基設置して捕獲を実施する。



図 2-1 本業務で捕獲試験を行う予定地

●道道 1060 号線沿線における捕獲可能性の検討

道道 1060 号線は生活道路や公園利用道路として利用されている道路であり、釧路川では周年カヌーや釣りが行われていることから、公園利用者等との軋轢を生じず安全に実施可能な捕獲手法を検討する。

➤エゾシカの日周行動の解析

○環境研究総合推進費事業「釧路湿原にて超高密度状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術」で装着された GPS 首輪データを用い、冬季のエゾシカの日周行動を解析し、捕獲に適した場所、期間及び時間帯を検討する。

➤流し猟式シャープシューティングのシミュレーション

- 1月～3月の期間に半月に1回、計5回のロードセンサスを図 2-2 に示す流し猟式 SS 想定エリアに沿った路線で実施し、エゾシカ出没状況及び人の利用状況を調査する。
- ロードセンサスは日の出から日没前までに1日5回、約2時間半おきに実施。
- 河川側はカヌー、釣り人など公園利用が多いため対象としない。
- 射撃可能な群れの数、カヌー利用者や釣り人の利用状況などを記録
- 安全な実施可能性、捕獲見込み頭数の算定、実施に適した時期及び時間帯を検討

➤ハイシートを用いた銃器による捕獲可能性の検討

- 1月上旬から3月上旬の期間に給餌・誘引試験を実施。
- 自動撮影装置を設置して誘引状況をモニタリング。
- 誘引されたエゾシカの頭数および日時を整理し、捕獲可能性を検討するとともに実施に適した時期も検討する。
 - ・候補地選定は、極力道路や釧路川から離れ、土地所有者が特定でき、協力が得られる見込みがある場所を H28 年度業務で3ヵ所選定した（図 2-2）。
 - ・うち1ヵ所（候補地 2）については公園利用者が撮影されたため、再選定する。
 - ・道路や釧路川に向かって発砲しないことを前提とする。

➤小型囲いワナによる捕獲可能性の検討

- 1月上旬上旬から3月上旬の期間に給餌・誘引試験を実施。
- 自動撮影装置を設置して誘引状況をモニタリング。
- 誘引されたエゾシカの頭数および日にちを整理し、捕獲可能性を検討するとともに実施に適した時期も検討する。
 - ・候補地選定の際は、公園利用者等が接近する可能性が少なく、土地所有者が特定でき、協力が得られる見込みがある場所を H28 年度業務で5ヵ所選定した。うち2ヵ所（候補地 3,4）を今年度のワナ設置候補地とする（図 2-2）。
 - ・体重計測式ワナを用いることを想定。
 - ・実際のワナ設置の際には、地面に凹凸があるためワナの改良が必要。



●釧路川右岸堤防における捕獲手法検討

釧路川右岸堤防は、湿原中心部に生息するシカの捕獲を考える上で重要な地域であるが、堤防施設管理者等や徒歩による公園利用、また周辺にはサケマス孵化場やビジターセンターの施設があるため、対策にはそれらに配慮が必要となります。本調査では、図 2-3 に示す路線周辺において、流し猟式 SS、囲いワナによる捕獲手法について、上記に配慮して検討を行います。

➤流し猟式シャープシューティングのシミュレーション

- 1 月～3 月の期間に半月に 1 回、計 5 回のロードセンサスを実施して、エゾシカ出没状況及び人の利用状況を調査する。
- ロードセンサスは日の出から日没前までに 1 日 5 回、約 2 時間半おきに実施。
- 推進費事業で行われた射撃適地の抽出結果を参考に射撃範囲を検討。

➤囲いわな(大型囲いワナおよび体重計測式ワナ)

- 大型囲いワナ及び小型囲いワナの設置候補地を選定
- 1 月～3 月の期間に給餌試験を実施して捕獲可能性を検討。
 - ・ワナの設置条件は以下表 2-1 に整理した。

表 2-1 囲いワナの設置条件

種類	設置に必要な条件
大型囲いワナ	<ul style="list-style-type: none">・ 50m × 50m 程度の広い場所が必要・ 資材および捕獲個体搬出入のため、2t トラック以上の車両がアクセスできること・ エゾシカの群れサイズが大きいこと
小型囲いワナ	<ul style="list-style-type: none">・ 7m 四方程度の平坦な場所が必要
両ワナ共通	<ul style="list-style-type: none">・ 公園利用者等や堤防施設管理者が接近する可能性の低い場所・ 個体の回収が容易に行うことができる場所



図 2-3 釧路川右岸堤防における捕獲手法検討実施予定地